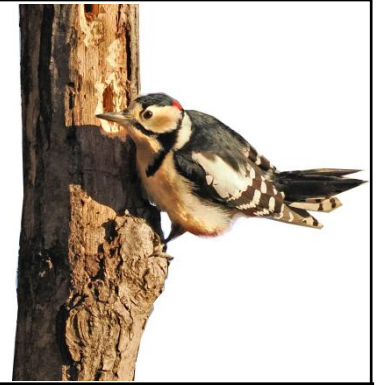


いきものふれあいの森 通信

2026.2.22 第15号



山と自然博物館「冬の野鳥観察会」

寒暖差のある2月となりましたが2月14日(土)には山と自然博物館の「冬の野鳥観察会」が行われました。まず始めに山と自然博物館にて講師の丸山隆氏より双眼鏡の使い方などの解説を聞き、早速、青空の広がるアルプス公園の中、鳥の囀りを楽しみながら園内を散策しました。



道中では、鳥の写真パネルを見せていただきながら分かりやすく、園内で見える事の出来る野鳥を教えて頂きました。またカラスは鳴き方で、ハシボソガラス(ガーガーと鳴く)、ハシブトガラス(カーカーと鳴く)を見分けるなど普段、何気なく聴こえていた鳴き声の違いや、似ている野鳥の違いなども親切に解説していただきました。



花の丘付近の園路から草地となっている斜面を遠くから双眼鏡で見守るとピョンピョンと跳ねながら進む

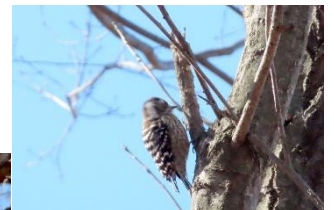


『トラツグミ』を観察することもできました。



老根田から山の神にかけての山裾の樹木には、『シメ』が、周囲の様子をうかがうように枝に止まっていました。

森の入り口付近では、『コゲラ』や『エナガ』などを見守りました。



今回の観察会では、ヒヨドリ・ヤマガラ・ヒガラ・カシラダカ・

シジュウカラ・ツグミ・カワラヒワ・アトリ・シロハラ・カケスなど多くの野鳥が観察できました。

まだまだ寒さが続きますので寒暖差には気を付けて公園へお出かけ下さい。

伝言板

「アルプス公園サポートクラブ」

ボランティア 花の丘剪定作業

・場所 アルプス公園 花の丘

・日時 3月11日(水)、25日(水)

午前8時30分～10時30分